

さこ祐仁の3つの約束 くらしと商売いきづく上京へ



1 防災対策に全力を尽くします



すぐに被災現場の声を聞き、対策を求めました。

備蓄資機材確保等の防災対策の確立、学校・公共施設や病院、介護施設等の耐震診断、補強工事を強めます。住宅の耐震改修・簡易改修制度を誰もが利用できるように条件を緩和改善し、防災力のある上京のまちをつくらせます。

2 全ての中小企業を支援します



消費税増税中止、「民泊」やホテル建設ラッシュなどまち壊しをやめさせるとともに、西陣の生産設備への補助制度を広げ、すべての中小企業への固定費補助を行う制度実現をめざします。

3 子どもから青年、高齢者が安心してらせるようにします

子どもの医療費中学校卒業まで無料に、全員制の温かい中学校給食の実施、府独自の返済不要の給付制奨学金制度の実現に努めます。

75歳未満の老人医療助成制度(マル老)は、窓口負担を1割に戻し、安心して医療が受けられる制度をめざします。



高齢者のアンケートを実施「払える保険料にして」の悲痛な声が寄せられました。

大学門前アンケート
ブラックバイトや奨学金返済の不安の
声が寄せられました。



現場にかけつけ 府民まるごと応援

消費増税
許さない!

災害が各地で起こり、私は北は京丹後から南は南山城村まで駆け巡り、「4回も浸水被害。心が折れる」という被災者の悲痛な声を議会へ届け、「大型開発でなく、防災対策に予算を回せ」と知事に迫りました。京都府議3期12年、消費税増税に一貫して反対、「いのちとくらしを守る」を原点に、引き続き頑張ります。



日本共産党

京都府会議員・3期

さこ 祐仁

府会

迫 ゆうじ 環境・建設交通委員、子どもの健やかな育みに関する特別委員。1955年生まれ、63歳。鹿児島県伊佐市出身。立命館大学中退。27年間、上京民商事局で中小業者の生活相談に従事、その経験を活かし、西陣振興対策を毎議会で質問。府議会「環境・建設常任委員」、「子どもの健やかな育みに関する特別委員」など歴任。趣味はスポーツ観戦。家族は妻(看護師)と3人の息子。

さこ祐仁

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働 NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決

何よりも いのちを大切に

困りごとがあれば
すぐに駆けつけます!

京都市会議員として4期16年を数えることになります。

いのちを原点に、大宮消防出張所廃止に反対、管理者不在の「民泊」への規制求めて全力で取り組んでまいりました。

誰もが安心して暮らせる市政を実現するためにがんばります。



日本共産党

京都市会議員・4期

くらた共子 市会

蔵田ともこ

経済総務委員長、予算決算特別委員会副委員長、京都市都市計画審議会委員など歴任。現在、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員、教育福祉委員。日本共産党京都市会議員団・民泊問題プロジェクト責任者。1960年生まれ、58歳。京都府南丹市日吉町出身。府立園部高校、府医師会看護専門学校看護課程看護科卒業。21年間、上京で看護師・ケアマネジャー・訪問看護ステーション所長として医療に従事。特技は着物の着付け。趣味はエアロビクスダンス。家族は建築士の夫と2人の息子。

くらた共子

くらた共子の3つの提案 住民の声届けががんばります



1 高すぎる国保料の引き下げを

京都市国保は54億円の黒字です。保険料は引き下げられます。全国知事会も国保料を引き下げるために国に1兆円の公費投入を求めています。協会健保並みの国保料となれば、年間20万円引き下げとなる世帯も生まれます。



簡易宿所を断念させ、建築協定で地域を守る町内会の皆さんと。

2 住宅密集地、路地の「民泊」の規制を

現条例では、上京区のどこでも「民泊」ができます。火災などの危険から住民の暮らしを守るために細街路、袋路、学校周辺等での開業を規制する条例改正を求めます。宿泊施設には管理者の常駐を義務づける必要があります。

3 子どもの医療費を 中学卒業まで無料に

亀岡市も中学卒業まで入院も通院も無料とする方針を発表しました。子どもの命を守り、子育てしやすい京都市のために制度の拡充は待たないです。



子育てしやすい環境づくりに期待します。

医療的ケアが必要な子どもの保育と就学について相談したら、すぐに保育園に来てくれました。親身に子どもやお母さんの力になってもらい大変心強く思いました。一層の活躍を期待します。

竹内 圭さん (保育関係者)

